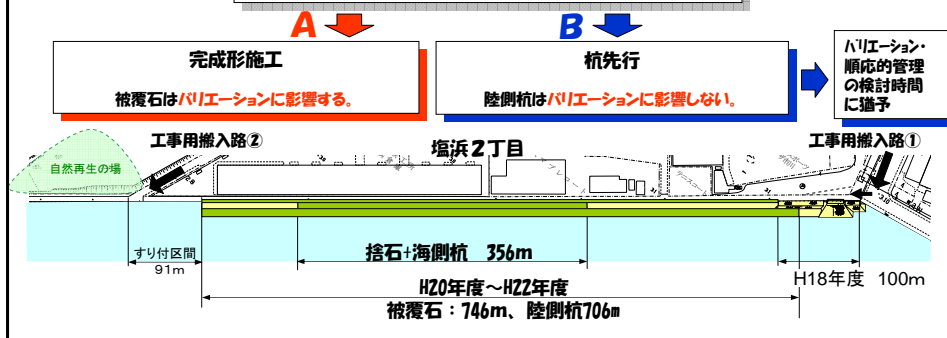


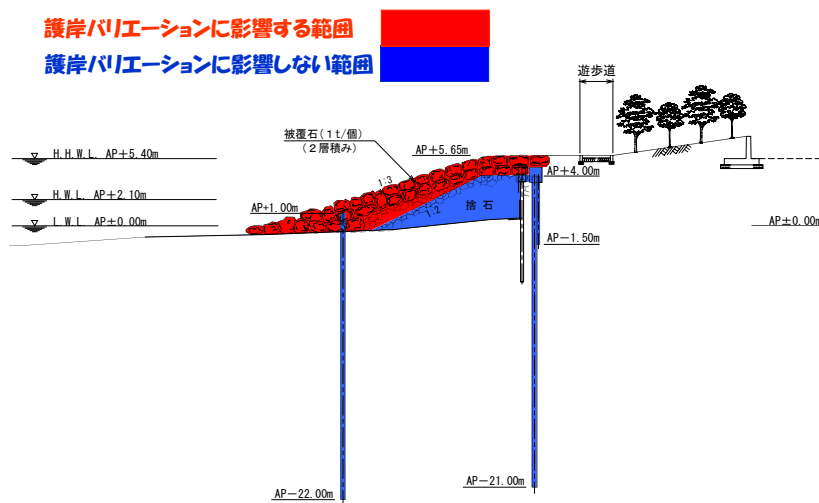
4. H20年度の整備方針について

(1) 工事の考え方

1. 平成20年度～平成22年度(3箇年)で下図の工事が必要。 ■ 残工事
2. 当面の安全確保として、捨石+海側杭をつなげる事が急務である。
3. 残り3年で残工事を完成させる為には、捨石以外の工事を進める必要がある。
4. 完成断面の工事を行う為には、バリエーションの確定が必要。



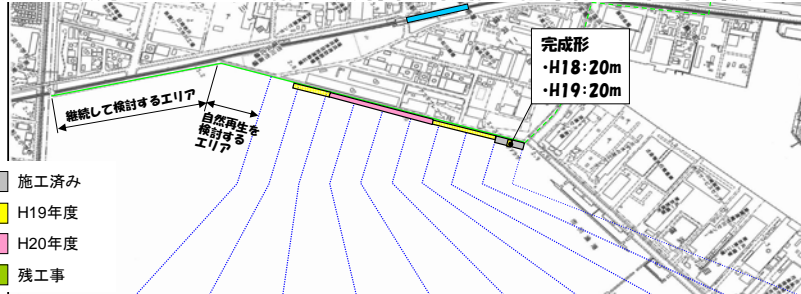
参考 護岸バリエーションに影響する範囲(断面)



(2) 実施計画検討案

16

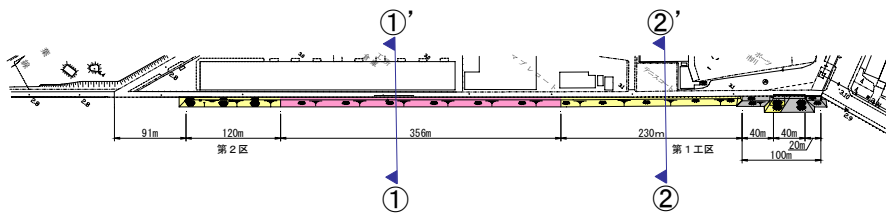
第1案：完成形なし案 ⇒ (捨石、海側H鋼杭) + (陸側H鋼杭・鋼矢板)



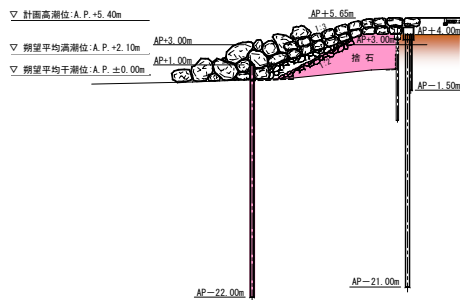
工種・箇所区分	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
海城工事 捨石 + H鋼杭 (倒壊防止)		120m		356m			230m		100m
海城工事 被覆石 (バリエーション)									20m
陸域工事 H鋼杭 + 鋼矢板 (倒壊防止)						370m			80m
陸域工事 被覆石 (バリエーション)									20m

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ○対象範囲の緊急対応が完了する。 ○バリエーションに影響しない工事なので検討時間ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新基本断面での完成形確認は20mに限られる。

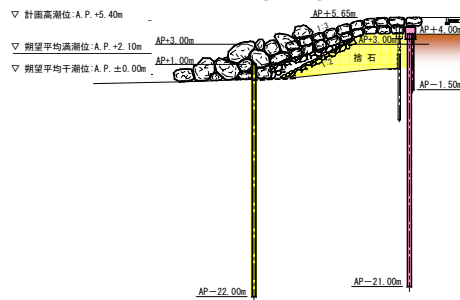
第1案：完成形なし案 施工断面図



①-①'断面



②-②'断面



17